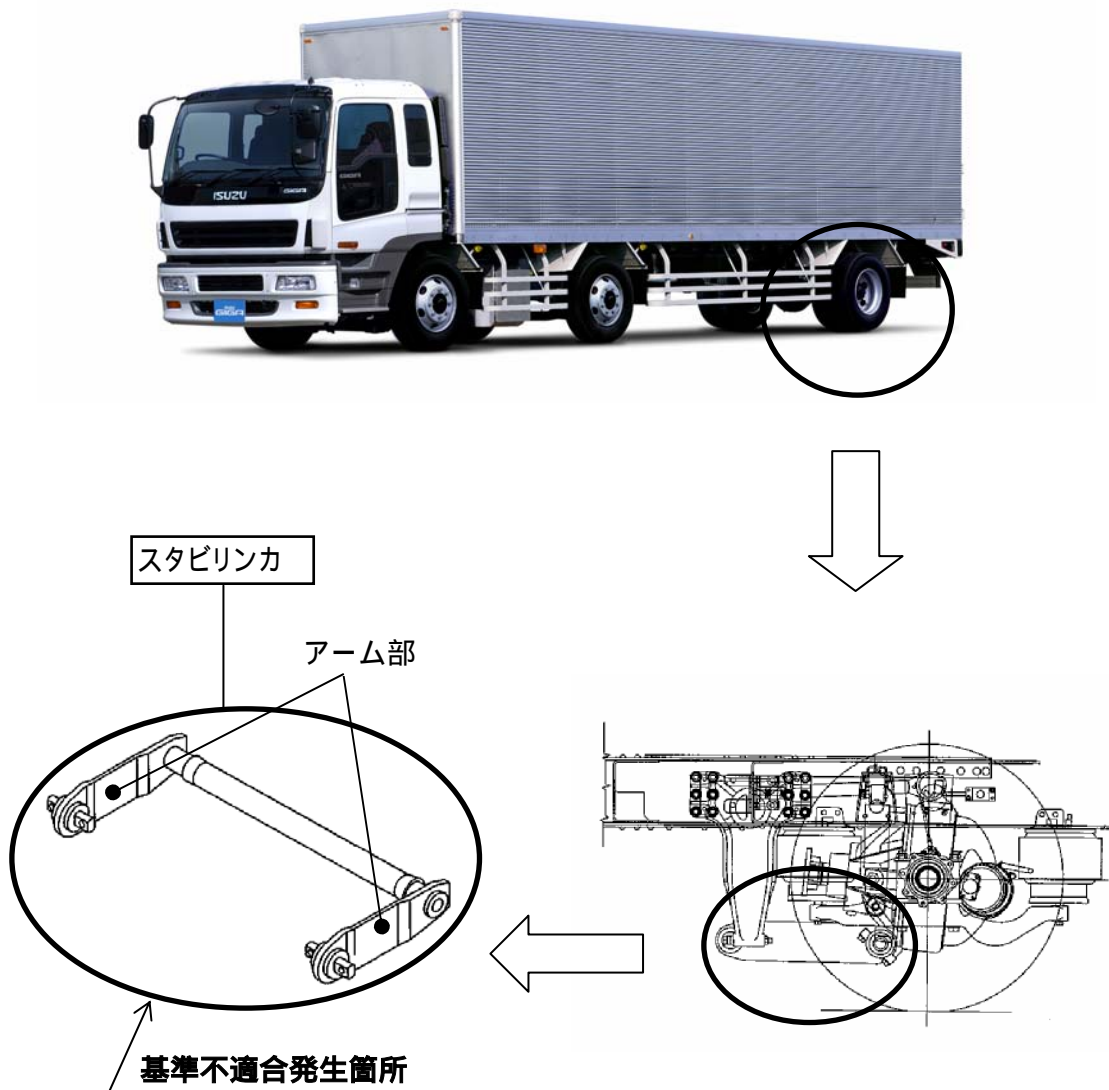


改善箇所説明図



後輪緩衝装置を板ばね式から空気ばね式に改造した車両において、後車軸と車枠を連結しているスタビリンカ(トルクロッドとスタビライザーの機能を兼ね備えたもの)の強度が不足しているため、急旋回走行を行なうとアーム部に亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、当該アーム部が破損し、後車軸がずれて走行不能となるおそれがある。

改善の内容: 全車両、スタビリンカを対策品と交換する。

識別: スタビリンカアーム部に黄色ペイントを塗布する。

注: は交換部品を示す。